

令和5年度 第2次山口市シティプロモーション事業 事業報告書

目次

1 本事業を経ての提案

2 実施施策

2-1 山県テラス

2-2 山県ワンデイツアー

2-3 実証実験

1 本事業を経ての提案

山県市の目指す方向全体感

展開・取り組み	アイデア・工夫	創出される価値	展開の出口
地域課題に寄り添ったビジネス	<ul style="list-style-type: none"> 商品・サービス開発 販路開拓・飲食展開 デザイン・プロモーション など 	<ul style="list-style-type: none"> 地域産品、地域商品 ブランド バリューチェーン 	事業者（地元産業）の <ul style="list-style-type: none"> 売上と利益の増加 雇用創出、投資 など
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域に潜在する多様な資源の掘り起こしと深堀り ▶ 多様な地域資源×「多様な事業分野×事業主体」 ▶ 多様な連携や新たなアイデア・工夫を発想する人材 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな商品・サービス開発 新たな販路・展開 <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たな（多様な）連携 EX) 観光、アウトドア、福祉、アミューズメント、スポーツなど ● 新技術の導入、既存技術の利活用・応用 EX) Tech・FoodTech ● 新たな仕組み効率的なシステムの再構築 EX) DX、IoT、輸送 など ● 新たな参画者、新たな顧客 ● これまでにない情報発信・プロモーション方法 <p style="text-align: right;">etc</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 自社の持続可能な経営資源 <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たなビジネスシステム（経済的価値の創出） <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関係人口の構築（非経済的を含めた関係性） <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プラットフォーム・エコシステム（持続的な枠組み） </div>	<ul style="list-style-type: none"> 所得の確保 雇用機会の確保 更なるビジネス人材 事業継承者 起業・創業 移住、定住の促進 地域産業の再構築

↓

ビジネスの創造が街を元気にする、そして越えるべきハードル（要素）は多い

ビジネスを創造する方向性

地域課題を解決する

地域課題例

- 滞在時間が短い
美山の伏流水など山県に訪れても、そのまま市外
- 若者の市外流出
山県市では子ども支援などにも取り組んでいるが、若者が残りたいという気持ちを醸成できるようなものがまだまだ足りない
- コンテンツ不足
耕作放棄地などを活用した、体験農園みとかのように、人を呼べる施設の設置を進めることで、市内のいくつかの施設を回遊してもらうまだまだ施設等不足している
- 農作物のブランド化
栗にしても、いちごにしても、干し柿にしてもポテンシャルは高く人気の商品があるが、全体の生産量そのものが少ないため、生産する担い手を育て、生産量をあげている方法が必要
- ランドスケープの改善
耕作放棄地などを利用した就農支援が必要 若者に山県市内で使われていない土地を使ってもらえるようなしくみや支援が必要

人を呼ぶ新しい「何か」を創造

- アイデアや工夫を講じた新ビジネス等により得られる「付加価値」。
- 付加価値の創出には、持続可能な経営資源や地域資本を基盤に、ビジネスやサービス、仕組み・システム、技術の利活用など、「新たな何か」を考えることが重要。
- 多様な連携や新たなアイデア・工夫を発想する内外の「人材」を巻き込みながら、「新たな何か」を形にすることで、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図る



地域課題を解決するために

1泊2日
1日1組限定

snow peakの
「住箱」に泊まれる!

孤独を、 楽しむ。

子どもの頃に夢見たような
小箱の家に泊まって
見たことのない大きさの机で仕事をする。
自然の魔法にかかる、1泊2日。

地域課題を解決するために

地域課題に対する実証実験



地域課題

(課題) 市内の滞在時間を増やしたい

- 円原川など山県の豊かな自然を、シティプロモーション事業など様々な事業で発信していく中で、認知は高まりつつあり市外から訪れる人も増えている
- 道路や、ゴミの問題など市内で観光貨客を受け入れるキャパシティの問題もある
- 宿泊施設や飲食店の少なさから市内に立ち寄って素通りする人も多く、滞在時間を伸ばす施策が必要

課題に対して活用したいポジティブな点

ワーケーション施設の開設
(コトフィルム、よってちよ)

名古屋や岐阜から近い
(車で1時間)

課題解決に向けて

- 「働く」をキーワードに、ワーケーション拠点を強化し、市外から市内への誘引を増やせないか
- ワーケーションの文脈に沿った宿泊場所を用意し、宿泊して落ち着いて仕事ができる、特別な時間を過ごせるなどを提案できないか

地域課題の整理



地域課題の解決案

(解決) トレーラーハウスの活用

- 空き家も増えておりその対策として、空き家のインフラを活用しながらトレーラーハウスを設置し、ランドスケープを再構築してみようか
- 国土の8割は建物が建てられない農林水産地域であり、この魅力的な農林水産地や自然資産が活かされていない、活かすことができれば地域が活性化するのは
- 調整地域等建物が建てられない場所に駐車できて、現地工事不要で自然を汚さず、必要に応じて移動ができる、



隈研吾氏がデザインしたスノーピーク社の「住箱」を設置し山県市への訪問意欲を掻き立てる

派生效果

他企業との連携

住箱をショールームとして捉えて、イデーや岐阜の木工所などと連携

地域との交流

ワーケーションを通じて観光でない人的な交流を促す

空き家対策、ランドスケープ改善など

地域課題を解消する実証実験

実証実験の振り返り

- トレーラーハウスは設置、撤去含めて容易でありランドスケープを壊さない
- ワークーションなどの活用により新しい層が流入できるのでは
などなど、振り返りはあるけれども

山県を訪れなくてもいいと思われている、のでは？

実証実験の振り返り

実証実験参加者の
若い女性割合が高い

女性目線！

- 寝る、くつろぐという事に関しては、ミニマムな環境で良かったが、食べる、お風呂が遠く（今回は温泉に行った）、滞在時間が短くなるなと思った。
- アメニティが充実しており、その心遣いに癒されました。感謝しています。
- アロマミストは、ホッとする香りでリラックスできました。マットレスがほどよい硬さで、とっても寝やすかったです。
- 無駄なものがなく、統一感があってとても落ち着いた。
- 今流行りの雰囲気でおしゃれなインテリアグッズ、ソファ、ベッドも素晴らしいです。
- トイレがキタナイ。洗面所がない。（この二点はキャンプ場と思えばこんなものかと思う）
- トイレはすぐ横にありましたが、洗面所がないのが少し不便に感じました。
- コワーキングスペースにトイレがないと書いてあったので行きにくいなと思った。

実証実験の振り返り

若い女性が楽しく過ごせて、気持ちよく過ごせる街かどうか

方向性

高富（市中心地）

地域資源

- 人が多い（→商売がしやすい）
- 岐阜駅からバスも多く、インター経由で名古屋からも比較的近い
- 現在はシャッター街だが、街中心部に商店街があるストーリー性

美山（山）

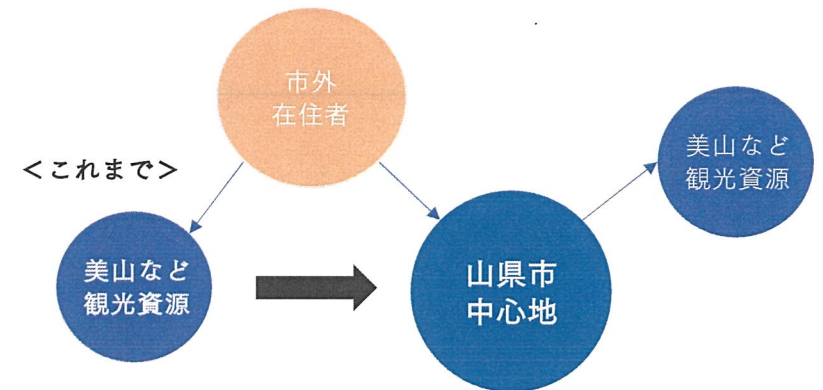
地域資源

- 風光明媚、水が綺麗
- 都会からすぐ近くの大自然
- よってちょなど地域のプレイヤーの頑張り
- おばあちゃんの手料理

考慮すべきこと

- あまり多くの観光客が押し寄せても弊害が出る
- 通年でない

- 市中心地のコンテンツ強化
若い女性が楽しめる街を目指して市中心部のコンテンツを強化する
- プレミアムな観光コンテンツ組成
美山などこれまで打ち出してきた観光資源を、市中心部に来た観光客が+αで楽しめる観光コンテンツに再定義
- 女性をターゲットにしたインフラ整備とシェア
若い女性が気持ちよく過ごせる街を志向し、宿泊施設とそれに付随するトイレやシャワーを管理シェアする



これまでの観光資源の訴求から発想を転換し
市中心部の訴求度を高める